

平成28年度東海・北陸ブロック研修会報告

東海・北陸ブロックでは、今年度、「地域の課題に向き合う保健師活動の展開～地域に責任を持った活動の可視化と強化を目指して～」をテーマとして研修会を開催しました。

参加者（82名）は、全国保健師長会の活動やその意義を理解するとともに、研究報告や実践報告から「地域に責任を持った保健師活動を可視化し強化するには」どうあるべきかを学び、グループワークでは熱心に意見交換がなされました。休憩時間の他自治体との情報交換も含め、参加者にとって満足度の高い有意義な研修会となりました。

1 日 時 平成28年9月3日（土）10：30～16：00

2 場 所 富山県民会館 401号室

3 内 容

(1) 全国保健師長会の活動報告

報告者：全国保健師長会 会長 青柳玲子 氏

(2) 研究報告

地域包括ケアシステム構築の推進にかかる保健師の役割に関する研究

報告者：埼玉県狭山保健所 担当部長 斉藤富美代 氏

(3) 実践報告（座長：富山県支部 沼田支部長）

①健康無関心層にまで届く健康づくりを目指して

～高浜町における「たかはま健康チャレンジプラン」の取り組み～

報告者：福井県高浜町保健福祉センター

保健福祉課 課長補佐 越林いづみ 氏

②市町村保健師と協働した保健所保健師の母子保健活動

～市町村保健師の気になる現象を発端とした保健活動の展開～

報告者：岐阜県東濃保健所

健康増進課 保健指導係長 丹羽員代 氏

(4) グループワーク

テーマ 地域に責任を持った保健師活動を可視化し強化するには

～組織の現状と課題解決に向け取り組みたいこと～

(5) 講評 斉藤富美代氏 青柳玲子氏

参加者アンケートから

- ・わかり易く自分も頑張ろうと思える内容で良かった。戻って他のメンバーにも伝えたい。
- ・全国保健師長会の活動を知ることができた。
- ・全国保健師長会から出されている提言等は、上司と話し合う時にとっても役立っている。
- ・実践報告では、健康課題の優先順位の検討や焦点化により、困難なこともモチベーションを高めながら楽しく取り組んでおられることに、励まされた。
- ・管理的立場の者が情報共有できる貴重な機会となった。



実践報告の様子

(記：東海・北陸ブロック理事 中嶋寿絵)